

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニュー

No. 6

09年1月6日

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2
国国会館1F 大阪労連気付
TEL 06 (6353) 6421 FAX (6353) 6420

09春闘 雇用も賃上げも勝ち取ろう！

大阪労連緊急生活相談に、日産やトヨタ派遣切りされた人からも相談

12月27日～31日、1月4日～5日の一週間、大阪労連は緊急生活相談を受け付けました。28日には、「10日まで建設の飯場で働いていたが仕事がなくなり、扇町公園で寝ていた。手持ちのお金もなく、頼る親戚もない。」というAさんがピラを見て相談にきました。生健会の協力で、大阪市の厚生施設に入居でき、生活保護の申請も行いました。

翌日には、大分の日産を解雇された派遣労働者Bさんから電話。路上生活を余儀なくされ、この方も手持ちのお金がありませんでした。柏原市の雇用促進住宅に入居することができ、布団も生健会から支給されて、一番求められていた住居を確保することができました。

30日には、愛知県トヨタの下請けでフォークリフトを運転していたCさんが、解雇とともに寮を追い出され、大阪に帰ってきて仕事と住居を求めているという相談です。この日はハローワークが開いていましたので、ハローワークと連絡をとり、とりあえず住居の確保をハローワークに要求しました。

それ以外にも、大阪のシャープで「24日に出勤すると、いきなり明日から来なくていいと言われた」、「12月22日に、『26日にやめてくれ』と言われた。」「息子が異動を断ると解雇だと言われた。」など、一日では解決できない相談が寄せられました。

他団体とも共同して

12月28日から1月4日まで扇町公園でホームレス支援を行っているグループにも、カンパや食料品を届け、生活保護申請の取り組みなど、今後も協力しようと話し合いました。

マスコミも追っかけ

ダイハツの派遣切りで、寮の退所を一ヶ月間阻止した豊能地区協・池田労連は、1月6日ダイハツと交渉を持ちます。大阪での大企業の派遣切りは、マスコミも注目し、労連事務所や豊能地区協役員に電話が相次いでいます。

賃上げは可能。我々から奪った分を返してもらおう。

09春闘は、何よりも多くの仲間の「雇用を守る」春闘です。そういう意味ではまさに「国民春闘」です。しかし、「賃上げ」要求も我々労働者は握って放せません。

大企業は、2002年から2008年まで、空前のぼろ儲けをしてきました。それを内部留保、役員報酬、株主配当に回してきたのです。労働者から絞り上げて貯めこんできた利益を今こそ、応分に返してもらい、内需拡大に結びつける時です。